



2025年4月28日

各位

会社名 高砂香料工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 梶村 聡
(コード番号 4914 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 川端茂樹
(TEL 03-5744-0649)

当社取締役会の実効性評価の結果の概要について

この度、取締役会の実効性を高め企業価値の向上を図ることを目的として、取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、その結果の概要を公表いたします。

記

1. 評価の方法

当社は、当社の全ての取締役及び監査役に対し、取締役会の実効性に関する複数の項目について、それぞれ段階評価及びコメントを記載する方式の質問票を配付し、無記名式により全員から回答を得ました。この回答内容を集計した結果を参考にしながら、取締役会にて審議する方法により、取締役会の実効性評価を行いました。

なお、質問票における大項目は以下の通りです。

- ・ 取締役会の構成
- ・ 取締役会の運営
- ・ 取締役会の役割・責務
- ・ 取締役・監査役個人としてのパフォーマンス
- ・ 取締役会を支える体制
- ・ ステークホルダーとの関係

2. 評価結果の概要

質問票の多くの項目において「十分できている」又は「一応できている」との回答が高い割合を占めておりました。この結果及び記載されたコメントを参照しつつ、取締役会において具体的に審議した結果、当社の取締役会は全体として実効性が確保されていると評価いたしました。

なお、昨年からの課題である株主との建設的な対話に資するための積極的な情報提供への主体的な取り組みに関しては、サステナビリティ課題への対応や資本コストや株価を意識した経営への対応が当社の重要経営課題であるとの認識に基づき、取締役会として積極的・能動的に議論したことを確認いたしました。

一方、以下の点については、改善されつつあるものの現状ではまだ十分ではないとの意見も出されたことから、これらが取締役会における今後の検討課題であるとの認識を共有いたしました。

- ・ 取締役会は、企業戦略等大きな方向性に関する議論を充実させるべく取り組んでいるものの、さらなる充実に向けた取り組みを継続する。
- ・ 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けた設備投資・研究開発投資・人的資本への投資等の資本政策の策定にあたり、資本コストを意識した議論をさらに充実させる。

3. 実効性向上に向けた取り組み

当社は、今回の評価結果を踏まえ、今後も取締役会において十分な議論を重ね、上記の検討課題を解決することにより取締役会の実効性をいっそう高め、企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

以上